市議会だより

大月市
平成 26 年 11 月 28 日発行 No.136

全議員で人口減少対策への取り組みをスタート

CONTENTS

・平成 26 年第４回市議会定例会　P. 2
（主な議案の内容）……　P. 2
（委員会審査）……　P. 3
・決算審査特別委員会 ……　P. 4～5
・議決結果一覧表 ……　P. 6
・代表質問・一般質問 ……　P. 7～13
・意見書 ……　P.14
・人口減少問題研究会 ……　P.15
・行政視察研修（人口減少対策）　P.16～17
・議会日誌 ……　P.18

親子あそび（福祉センター）

大月市議会第４回定例会
こんな事が決まりました。
９月３日～30日（28日間）

今定例会の議案（審査付託先）

市長提出案件

・条例案
４件……（各常任委員会）
・補正予算案
３件……（各常任委員会）
・その他の案
２件……（各常任委員会）
・25年度決算認定
９件……（決算審査特別委員会）

請願

……２件（各常任委員会）

主な議案の内容

予算（補正）

◎平成26年度　大月市一般会計補正予算（第４号）

国道20号・139号（避難路）沿いの一定の高さの建物の耐震診断に助成をします

○耐震改修促進法改正に伴い旧耐震基準の大規模建築物・県が指定する防災建築物、避難路（国道20号・139号）沿いで一定の高さを有する建物の耐震診断と結果報告が義務化されたため該当する建築物所有者に対し補助をする費用の追加を行う。

（1、613万円・該当者には個別に連絡をします。）

市営仲山団地の４区画を売却し、公共施設整備基金に繰り入れます

○市営仲山団地、全９区画の内、入居中の５区画中、４区画を入居者に売却し公共施設整備基金に繰り入れます。残っている空き家については解体除去し普通財産として活用する方針。

（1、369万円）

公共施設等総合管理計画を策定します

○人口減少・少子化等により公共施設等の利用需要の変化が見込まれる状況を鑑

み、公共施設等の全体を把握し、長期的視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより財政負担を軽減・平準化するとともに、その最適な配置を実現し、時代に即したまちづくりを行っていく事を目指し、公共施設等総合管理計画を策定する。（６４８万円）

◎平成26年度　大月市病院事業会計補正予算（第1号）

院内オーダリングシステムを導入します

○院内オーダリングシステム等の予算組替や看護師修学資金貸付金の追加などにより補正を行う。
○中央病院の一時借入金の限度額を8億円から15億円に増額します。

その他

◎訴えの提起の件

市営住宅の家賃を長期にわたり滞納し、市の再三にわたる催告にも納入しない滞納者に対し、代理人（弁護士）により滞納市営住宅明渡及び滞納家賃支払の訴訟提起を行い、少額訴訟（60万円以下）のものは代理人をたてず滞納家賃支払の訴訟提起を行う。

請願

◎年金削減の中止、最低保障年金の実現を求める請願書
◎手話言語法（仮称）の早期制定を求める請願書

〈いずれも、採択となりました。意見書は14ページをご覧ください。〉

陳情

◎軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情

〈継続審査となりました。〉

委員会審査の様子

中央病院の補正について

Q 一時借入金の限度額が8億円から15億円に増額することになった経過を詳しく聞きたい。

A 2月の大雪や旧新館からアスベストが発見され、その除去に3カ月を要した事により7月完成予定が、11月末に延びた事や、県から頂く予定の耐震化の事業の補助金は要綱により工事完成後でないといただけないということで、一時借り入れの増額が必要になってしまった。

Q 一時借入金の性質は建設に係るものと経常経費に係る物があると思うが内訳は。

A 建設に係る借入限度は11億円、経常的な借入金限度額は4億円です。

Q 一時借り入れの金利は。

A 今は0・2％です。仮に3億円借りますと年間60万円ぐらい、半年ですと30万円です。

Q オーダリングシステムとはどんなシステムなのか。

A 医師が薬局に対する薬の処方、レントゲンオーダー、検査のオーダー等、紙伝票でやっていたことをパソコンで行うという事です。オーダリングシステムとその向こうには電子カルテを念頭において整備を進めています。

Q どんな効果が期待されるのか。

A 会計の方もすぐ計算ができ、最終的に会計の方で待つことがかなり緩和されるのかなと思います。

Q いつから稼働するのか。

A 10月1日からの稼働を目指しております。

病児病後児保育について

Q 病児病後児保育の受け入れ可能な定員は何名か。増員は可能か。

A 定員は2名というふうにすすめています。今後はニーズ等の状況により、検討し決めていきたいと思います。

Q 新規事業である病児病後児保育について、今後充実させていくために視察や研修をされる予定はあるか。

A 数カ所に視察に行かせて頂きたいと思っています。

財産売り払い収入について

Q 財産売払収入の件ですが、仲山団地の売り払い方法について教えて下さい。

A 市内の業者に不動産鑑定をして頂いた結果、基地隣接等の土地条件により土地価格には開きがありますが、価格を決定し売却する事となりました。

平成 25 年度決算を認定！

・決算審査～予算審査との違い、議会の役割
税金の使い方を決めるのが予算審査、決算審査は使われた結果を検討し、今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。

・決算審査特別委員会での「病院」「人口減少対策」「財政」についての主な質問・意見と市（当局）の回答を紹介します。

委員長
山田 善一

副委員長
小泉 二三雄

平成25年度決算審査特別委員会　委員長報告（要旨）

（1）人口減少、少子高齢化の進行、行政ニーズの高度化、多様化など、市を取り巻く環境は年々厳しさを増している中にあって、審査を通じて、人口減少対策への対応に手薄観が感じられた。特に移住定住対策への取り組みとしての空き家バンクの活用、地域おこし協力隊の活用、更なる子育て支援、医療、介護、福祉、防災対策などにおいて、職員の提案制度を大いに活用し、市長指揮のもと全職員、議会も一体となり、この難局に立ち向かい、市民が信頼し、安心して生活のできるまちづくりに努めるよう強く望む。

（2）自主財源を確保するための手段として、市公共物を含めた市有財産等、積極的に処分し、財源を確保するようにとの意見を付し、土地売却等処分に努力は認められるものの、土地の有効活用、産業推進という理由のもと、適切でない処理での賃貸契約が一部見受けられた。引き続き、処分可能な財産は売却等に努めつつ、処分等においては、算定の方法も事例ごととするなど検討し、適正な料金の設定をして頂きたい。

また、引き続き、賃貸等で使用している用地については、費用対効果あるいは、効率的運用の観点に立ち、可能な限り、買い取り等による取得に努められたい。

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会における主な論点Q&A

Q　病院経営管理指標が初めて示されたが、人件費・委託費・経費の割合が高い。

A　常勤医師11名、非常勤医師61名の給与費が高い。経費のうち、委託費、光熱水費、燃料費等が高く、分析・見直しが必要であると思っている。

Q　一部が土砂災害特別区域となっているが、想定を超える土砂災害があった場合でも院内は大丈夫と言えるか。

A　東棟建物は南側40メートルあるが、近接の山は土被り1メートル。土砂の高さ1メートルで4,000キロニュートンの負担となるが、建物はその4倍の力に耐えられるため、院内は大丈夫である。

Q　「大月市子ども子育て支援事業計画」を策定する子ども・子育て会議の状況は。

A　これまで4回実施、前回素案を出したので、その後1月はじめのパブリックコメントを得て、年度内に策定したい。

Q　特色ある学校づくりに対する教育委員会の考え方は。

A　大月市で育った子どもが大月を忘れない教育を、校長先生方と話している。その一つとして、ふるさと教育の実践を行っている。

Q　空き家バンクの登録をどうすすめているか。賃貸物件は難しいか。

大月市空き家バンク

詳しくは

大月市空き家バンク 検索

http://www.city.otsuki.yamanashi.jp

A　平成25年度末で登録物件11件、4件が成約済み。登録を増やすため、空き家所有者には資料を送付している。数か月を賃貸でとの希望があれば市から所有者に伝えるよう対応する。

Q　緊急地震速報は命に係わる重要な情報であるため、防災放送を含めどう活用するか。

A　市に地震情報が入り次第、市民の皆様にできるだけ早く情報を伝達したい。その都度発信していきたい。

Q　市有財産の土地処分において、1円からの入札について、検討していないか。

A　公社の解散手続きが完全に済むのと併せ、地域の方々と話し合いを詰め、方法などを示した計画案を作成したい。

Q　徴収率を上げるためにどうしているか。

A　県内では催告書を3回送るという市町村が多いので今年は試行的に3回にしたい。それと、収納率向上月間を税務課独自に設け3月に行いたい。

平成26年9月定例会議決結果等一覧表

（賛成○　反対●　棄権ー）※小原丈司議長を除く

種別	議案番号	案件名＼議員名	天野祐治	大石源廣	相馬保政	奥脇一夫	後藤慶家	古見金弥	小泉二三雄	西室衛	山田善一	卯月政人	山田政文	鈴木章司	小林信保	藤本実	結果
条例	第 54 号	大月市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	第 55 号	大月市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件															
	第 56 号	大月市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件															
	第 57 号	大月市投票管理者等の報酬に関する条例中改正の件															
補正予算	第 58 号	平成 26 年度　大月市一般会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	第 59 号	平成 26 年度　大月市介護保険特別会計補正予算（第１号）															
	第 60 号	平成 26 年度　大月市病院事業会計補正予算（第１号）															
その他	第 61 号	訴えの提起の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	第 62 号	訴えの提起の件															
決算認定	認定第１号	平成 25 年度　大月市一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定
	認定第２号	平成 25 年度　大月市大月短期大学特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第３号	平成 25 年度　大月市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件															
	認定第４号	平成 25 年度　大月市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定の件															
	認定第５号	平成 25 年度　大月市下水道特別会計歳入歳出決算認定の件															
	認定第６号	平成 25 年度　大月市介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件															
	認定第７号	平成 25 年度　大月市介護サービス特別会計歳入歳出決算認定の件															
	認定第８号	平成 25 年度　大月市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件															
	認定第９号	平成 25 年度　大月市病院事業会計決算認定の件															
請願	請願第５号	年金削減の中止、最低保障年金の実現を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	採択
	請願第６号	手話言語法（仮称）の早期制定を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書	意見書第５号	「年金削減の中止、最低保障年金の実現」を国に求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
	意見書第６号	手話言語法（仮称）の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	